

ランダム化比較試験で、対象者を介入群と対照群へランダムに割り付ける理由として正しいのは、次のうちどれか。

1. 対象者の参加率を高めるため。
2. 対象者の途中脱落を少なくするため。
3. 対象者がどちらの群に属するのか分からないようにするため。
4. 介入内容以外の背景要因を両群で同じような分布にするため。
5. 偶然誤差を小さくするため。

動脈硬化性疾患予防のための食事療法に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 脂質エネルギー比率を 7 %未満とする。
2. トランス脂肪酸の摂取を増やす。
3. 炭水化物エネルギー比率を 30 ～ 40 %とする。
4. アルコールの摂取は 1 日 25 g 以下とする。
5. 食塩の摂取量は 7.5 g/日未満を目標とする。